

云ふにいへぬ氣分がする、犬はと思つて見たが、其邊には居らない。

と一々金を忘れた場所へ着いた。けれども其時の彼の感情は果してどんなであつたらう、彼の心腸は此場の光景を一見した許りで殆んど寸断した。不憫な犬は、もはや自分の敬愛せる併も残酷極まる主人に伴ふことが出来ない所から、あはれや其最期の一瞬間を以ても尙自分の職務に服することを決心した、全身血まみれになつた儘で、金袋の所まで這ひ戻つて、来て、今や死の間際の苦しみの際して、金袋の番をして居つたのである。

夫でも主人の顔を見るとすぐ尙尾を搖かして、喜の心を見させて居る。けれども、もはや何にも出来ない、立ち上らうとしたが、叶はない辛うじて舌を出して、残酷な所業の赦免を乞ふ積りで、悲

しみに充ちてさし出した主人の手を甜りながら、温な顔をして主人を眺めたが、やがて眼を閉ぢて陥いつて仕舞たといふ事である。

●前號考へものゝ解

- (一) 私は夜戻るのが恐いから(虫の名ニ)蛭、蛙
 - (二) 人力車夫とかけて、算盤と解く、心は掛けたり引いたり
 - (三) めくらの障子張とかけて、氷と解く、心は、寒で張る
 - (四) めくらの芝居見物とかけて、九月の花見と解く
- 心はさく許り(菊許り)

愛讀諸姉の一人から左の懸賞考へものが出ました、お考へ付きになつたら、遣つて御覽なさい。

◎懸賞考へ物

一、十一を二分して 世界中の一國名

一、二十を三分して 日本國內著名の高山

一、十四を三分して 裁縫方必需品

一、二十を三分して 我國著名の都會

一、十二を二分して 日々必需品

右五題正解答者には悉く雜誌壹部宛、其内壹番、

十番、二十番と謂ふ節番に當りたる方は婦人と子

ども貳ヶ月分の小爲替證書を差上げます。解答紙

に郵券五錢封入御申込なさい、〆切の明くる日よ

り景品發送します。御申込の際、郵券御忘れの方

は没書としますから御心得て下さい壹人りで多數

の御申込みは御断ります。

但し順番は發信局の消印によります。

一、〆切期限 六月五日限り

一、解答紙 隨意

一、申込所 愛知縣西加茂郡筋生村字黒笹五七

番 加納 貞子

贊助者 鈴木 はる

披露 七月五日發行婦人と子とも紙上

◎第貳卷第參號懸賞考へ物の解答

及び景品受領者の披露

一、十七を二分して農夫必需品 鍬(九八)

一、十六を三分して日本國內の一國名 石見(五八三)

一、十五を二分して人体中の一名稱 鼻(八七)

一、十三を二分して女子必需品 櫛(九四)

一、八を二分して獸類の名 獅子(四四)

右の如く解答せられたる御方には兼て豫告の通り